

令和3年度葛飾区行政評価委員会 議事要旨

会議名	葛飾区行政評価委員会 第3回第一分科会
開催日時	令和3年8月5日(木) 午前10時から正午まで
開催場所	葛飾区役所5階 庁議室
出席者	【委員7人】 大石会長、大山委員、大畑委員、岡村委員、上村委員、香月委員、堀委員 【区側7人】 事務局(政策経営部長、経営改革担当課長、事務局職員4人)、環境課(環境課長)

会議概要

1 開会

(事務局より資料の確認)

2 答申内容のまとめ

会長：成果について、皆様のご意見を伺いたい。

A 委員：今後は個人の活動に対して力を入れてほしい。

B 委員：副次的な効果を客観的に測るための材料が不足、評価しにくい部分があると考えます。

C 委員：孤独になりがちな住民に対する支援としてよい。地元の企業と一緒にフラワーメリーゴーランドを作った点が、地元企業の活性化にも繋がりがよいと感じた。

D 委員：フラワーメリーゴーランドは、街づくりにおいても活躍が見込めると思う。また、葛飾区のイメージを統一することにも寄与するのではないかと。今後の花壇活動については、多くの方が参加できるようにしてほしい。

E 委員：広い場所にフラワーメリーゴーランドを設置しているが、効果があるのか不明である。費用も高いので、場所を選んで設置すべきである。また、花苗の費用を抑えていくことを検討したほうがよい。

F 委員：立ち上げから現在まで、官民学を巻き込んだ事業となり、良いと考える。成果の部分では実績が横ばいとなっているが、気分を向上させるといった無形の効果もあると考え、総合的に良い事業だと思う。今後も拡大してほしい。

- 会 長：コストについて、皆様のご意見を伺いたい。
- A 委員：リーフレットについては、個人に関する支援内容も盛り込んでほしい。
- E 委員：広報を使うべきである。リーフレットは興味がある人に限られた周知ではないか。
- D 委員：消耗品費が高いように思う。この金額には個人の花苗代は含まれるのか。含まれていない場合、今後個人の花苗代が加わると考えられ、消耗品費はさらに上がる。抑える工夫が必要なのではないか。
- 事務局：消耗品費については、団体への費用であり、個人の花苗や肥料代金は含まれていない。
- C 委員：今後の方針とコストはセットで考えるべきだが、予算は確保できるものなのか。
- 会 長：行政評価委員会は今後の方向性を区へ示し、予算編成の参考にしてもらうものである。仮に活動量が増え、予算を増やす必要があると意見がまとまれば、その旨の提言をしていければ良い。
- F 委員：来年度の活動について知りたい。今後は、SDGsの視点を取り入れた事業展開をすべきである。
- 事務局：来年度どの程度の活動を想定しているのかについて、現時点では、十分ではないと考えており、団体への支援をしつつ、個人の方向けの活動も検討していく予定である。また、緑と花の街づくり事業はSDGsとの結び付けも意識し、事業を行っている。
- 環境課：令和4年度は「(仮称)まちかどマイガーデン」を実施するための予算を確保していきたい。
- F 委員：当面の間、見直しは考えていないということか。SDGsを絡めるのであれば、早急に対応すべき項目もあると感じる。
- 環境課：何も変えないということではなく、消耗品に関してコスト削減ができないかといった効率化も考えている。また、個人に向けた活動支援策も考えていくつもりである。
- A 委員：SDGsの最終地点は2030年であり、2、3年で結果を出すようなことではないと考える。先を見据えて活動していただければよい。
- B 委員：団体活動は、高齢者の孤立防止といったセーフティネットの役割にも繋がると感じる。
- E 委員：地域の老人会における花壇活動も支援をするなど、地域全体で盛り上げる必要があるかと思う。
- D 委員：花と緑のはがきコンクールについて、モチベーション向上のため、副賞を用意してはどうか。
- C 委員：副賞に関しては、賞金ではなくはがきを拡大したポスターや花苗な

どの方が良いかと思う。

- 事務局：はがきコンクールの副賞としては、表彰状と表彰状を入れる額縁、今年に関しては図書カードをお渡ししている。
- A 委員：花いっぱいレポーターの報酬は毎月発生するものなのか。
- 事務局：花いっぱいのまちづくりホームページに掲載するなどの活動をしており、毎月報酬が発生している。
- E 委員：どういった方がレポーターになっているのか。
- 事務局：花いっぱいレポーターについては、一般公募となる。常時募集をしており、現在7名である。
- B 委員：周知方法として、ホームページを選択した理由は何か。若者のアクセスを考えると SNSの方が有効ではないか。
- 環境課：他団体の活動をホームページで閲覧でき、団体同士が刺激し合えるといった効果も期待できる。
- B 委員：ホームページにアクセスしている年齢層はどのくらいか。小中学生向けというわけではないということか。
- 環境課：傾向としては40代より上の世代にアクセスされている。小中学生向けに作っているというわけではない。
- B 委員：そうであれば、ホームページもよいと思う。
- A 委員：フラワーメリーゴーランドについて、費用をもう少し切り詰められないのか。
- D 委員：フラワーメリーゴーランドの花苗代を含め、消耗品費が非常に高いのではないか。
- F 委員：委託とあるが、こちらは入札か。入札の場合、これ以上減額が難しいと思われる。
- 事務局：入札である。
- F 委員：事業を開始してから7年になるが転換期ではないか。
- 会長：今後の方向性について、皆様のご意見を伺いたい。これまでは、個人の花壇活動が今後の大きな方向性となる、緑と花のはがきコンクールの入賞作品を目立たせる形で展示をする、花に関する副賞を渡すのはいかがかといった意見が出ている。その他には、若者向けとして SNSによる積極的な周知をすべきといった意見も出ている。他にご意見はあるか。
- D 委員：個人活動を推進する上で、ある程度のルールも作ることが必要になるのではないか。例えば、歩道にプランターを並べるのは危険である。
- E 委員：小さいプランターを掛けられるといった工夫があるとよい。また、コンクールの実施は競争心が生まれるため良いと思う。

- B 委員：花いっぱいホームページやフラワーメリーゴーランドについては、やらないほうがよかったかと思うが、作った以上は活用してほしい。
- C 委員：SNSの件については、インスタグラムを開設しているはずである。ただし、フォロワー数が一桁であったため、こちらの活動を推進すべきではないか。また、葛飾区のツイッターをもっと活用してほしい。
- F 委員：新基本構想が作られたように、将来の方向性が決まっている。そこに基づいた活動をすべきか否かも行政評価委員会の評価観点ではないかと思う。緑と花のまちづくり事業は協働ができている。
- 会 長：家庭用の花いっぱい活動にも力をいれていくといったお考えはあるのか。
- 環 境 課：これまでも大きなイベント中で個人の方向けに花苗を配っていたが、それだけでは活動を活性化させることができないと感じる。今後は家庭における花壇活動のコントロールといったことも考えている。
- 会 長：8月23日には、第一分科会としての提言を出していくことになる。皆様と議論できたことに感謝する。

3 その他

(事務局より事務連絡)

4 閉会